



BMA ジャーナルはビジネスモデル学会が発行する電子ジャーナル(学会誌)です。学術論文に加えてエッセイやユースなども掲載した、わが国における唯一のビジネスモデル総合誌です。論文類に該当する学術論文に限り当学会正会員、複数名投稿の場合は1名正会員が要件になりますが、非論文類(講演録、経験談、インタビュー、新著紹介や書評、エッセイ、会員動向など)には非会員も投稿できます。ぜひ学会正会員や非会員読者のみなさんの知見などを「披露下さい。ご意見」投稿などを心よりお待ちしております。

お問合せやご相談
journal@biz-model.info

編集後記

企画から多様な検討を重ね、半年近く経ったところで、ついに皆さまと会うことができました。編集委員会内外に様々なご配慮やご協力を下さった方々に対し、心より御礼を申し上げます。

本号より、昨年まで公開して来た「ビジネスモデル学会論文誌」を、発展的に「BMA ジャーナル」として名称変更し、研究論文を発表するのはもちろん、コンセプトや内容構成など、大きくリニューアルした総合誌として、再スタートさせて頂きました。

これは、平野会長をはじめ、当学会新体制の方針に沿い、「アカデミアの体系知とビジネスの実践知の融合を強く意識し、経営や事業に関する多様な論考や思想の自在で闊達な交流に努める」(巻頭言)といった学会活動の活性化に資するためです。

本誌の編集に当たり、愚見的には、学術性、多様性、学際性に留意してはどうか、と思っております。

学会として、しかも日本学術会議指定協力学術研究団体として、「学術性」を追求するのは責務でもあります。アカデミアや各方面の多彩な実務家などによる「多様性」を持った「活きる研究」こそ、よりビジネスモデル論の在り方が立体的に見えてくると考えられます。また、今日的課題の創造的解決に分野横断的に取り組むのに「学際性」を踏まえたアプローチが重要でしょう。

平野会長が「巻頭言」で言われるような、「ビジネスモデルに関する有用な知の交流と発信の場」になりますよう、編集委員会内外の方々と連携して努めて参ります。読者のみなさま、今後ともぜひご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

編集委員会を代表して 張輝